

市立小中学校の規模適正化・適正配置に関する説明会概要（松尾小学校）

期 日：平成 27 年 11 月 9 日（月） 18 時 30 分～19 時 10 分（PTA 役員会前）

場 所：松尾小学校 体育館

参加者：PTA 役員及び保護者 12 名

【意見内容と回答】

○説明者側から、「方向性として適正化はやむを得ないと考えているのか。また、松尾小と豊岡小の組み合わせについてどう考えているのか。」教えて欲しいという問いに対して。

◎男性

松尾小と豊岡小が統合すると、平成 33 年度の推計では約 200 名規模になると思うが、それ以降も減っていくと思うので、大平小との統合という話は出ているのか。

○教育総務課長

今の案では、大平小は蓮沼小と一つの学区にしたらどうかという提案をさせていただいている。理由としては、豊岡、松尾、大平で一つの学区にすると、中学校区と同じ区域となり、小学校の学区としては大きすぎるのではないかということが一つ。もう一つは、蓮沼小が今後、児童数が減っていてもつと規模が小さくなったときに、統合する先がなくなってしまうということもあって、大平小との統合の提案となっている。そういうことから、松尾小は豊岡小との統合を提案している。

◎男性

統合した時に 1 学年 2 クラスだったものが、その後、保てなくなって 1 学年 1 クラスになるような状況になった場合はどう対応するのか。

○教育総務課長

その時の考え方としては、今の通学区域を見直すという考え方を持っている。例えば、大平小学区と松尾小校区の境目のところで、大平小学区だけ実際には松尾小に近い方もいるし、大富小学区との境目のところにもそういう方がいる。そういう接点のところの学区をまず見直してみてもというのも、手法の一つとして考えられると思う。それでも数が適正な規模にならない場合は、次の統合を将来的には考えなければいけないかも知れないが、まずは今回の組み合わせでの提案をさせていただいているところである。

◎女性

意見を述べさせていただく。私の子どもは松尾小に通っているが、実際にまつおこども園のときに、同じ年（クラス）の子どもたちが松尾小と豊岡小とにわかれてしまって、豊岡小に行った子は少ないが、少ないなりのメリットもあるかもしれないが、やっぱり小学校に入学するときに分れてしまって、寂しい思いをするよりは、いろいろ考えはあると思うが、スクールバスを出して統合することが、子どものためにはいいのではと感じている。できれば児童数は多く、1 学年 2 クラスくらいの規模にしていだけるような、仕組みをつくっていただければと、話を聞いていてそう思った。

○教育総務課長

私どもも、学校の規模適正化の説明をさせていただいて、地域の方、保護者の方の理解が得られれば、実際に統合の方向で進めていく。そういった中では、実際に通学距離が遠くなってしまうことになるので、当然、今ご意見いただいたようにスクールバスを運行していかないと、通学の安全が確保できないというように考えているので、統合準備の話し合いの中で、スクールバスをどういう形で運行したらよ

いのか、ルートや本数などについてよく協議して、安全に通学してもらいような手続きをとるということで考えている。